

第1学年1組英語科学習指導案

日時 令和4年10月19日(水) 5校時

指導者 JTE 一瀬 大樹

ALT James Glen Gerth III

場所 長坂中学校 白藤ホール

1 単元名

Unit 5 This Is Our School (Here We Go! English Course 1)

2 単元について

○教材観

本単元では、アメリカから転校してきた主人公のティナが、学校開放日に授業参観に来た母親を相手に校舎内を案内するというストーリーを軸にデザインされている。アメリカの中学校の文化しか知らない母親が、ティナの説明や指示を受け、日本の学校とアメリカの学校との文化の違いに驚く描写が数々見られる。

本単元は、道案内の表現、人や物の位置をたずねる・答える表現、さまざまな指示を出す英語表現が豊富に取り上げられている。グローバル化が進んでいる今、若者たちが将来海外で道をたずねたり、日本で外国人に道案内をしたりすることは十分に考えられる。また、外国人に英語で様々な指示を出す機会は、直接的な会話の機会としてだけでなく、文面やインターネット、メールなど電子媒体を通して必ずやってくる。そういった状況下で子どもたちが尻込みをせず、気軽に、かつ堂々とコミュニケーションをする力を身につけさせるために、体験的な学習を豊富に設定し、主体的にコミュニケーションを図る必要性は非常に高いと考えている。

また前述のとおり、本単元はティナの母親が日本の学校とアメリカの学校の違いに驚く描写が豊富に存在する。日本の中学生は海外の学校の様子や文化の違いについての知識をほとんど有しておらず、これらの描写は生徒にとって新鮮なものであると推測する。異文化理解の視点からも、学校のつくりやきまりなど、日本の学校とは異なっている点が多いことを、本単元を通して生徒が理解することは、互いの文化の違いを認め、相互に理解しあおうとする態度を養うことにつながると考える。

○校内研および山梨県英語教育改善プラン推進事業の研究に関わって

本校は昨年度より、山梨県英語教育改善プラン推進事業の研究指定校として、「小・中・高等学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語による発信力を向上させるために、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題（パフォーマンス課題）を設定し、言語活動を通して指導・評価するモデルを充実させる」研究を重ねている。本校は特に、「話すこと（やり取り）」を「書く」力につなげる指導に主眼を置いている。単元ゴールの「書く」活動につながるスモールステップとしての「話すこと（やり取り）」を、どのように単元計画や授業の中に組み込んでいけるかを研究の柱としている。

昨年度の研究を通し、コミュニケーション活動における目的・場面・状況の設定の重要性について知ることができた。今年度は、生徒の思考力・判断力・表現力を高めるために、単元の最終活動だけでなく毎回の授業においても目的・場面・状況を明確に設定・提示したコミュニケーション活動を豊富に、かつ気軽に行うよう、本単元や普段の授業の単元・授業計画を行っている。

前述のとおり、本単元では道案内や指示の表現が主に取り上げられている。小学校の外国語活動や外国語科の授業で行われた道案内の活動や用いられた教材を活用することで、生徒がスムーズに活動に移行できる

ように配慮している。

本校英語科が主に研究を行っている「話すこと（やり取り）」が単元末の「書く」活動につながる指導について、本単元についても昨年度と同様の考え方で、

- ①長坂中 CAN-DO LIST の「書くこと」の項目において、生徒に身につけさせたい項目をはじめに定める。（今回は「書くこと」1年—レベル3の達成を目標として設定し、本単元 Unit 5 と Unit 6 の学習を通して目標達成をめざす。）、
- ②その書く力を身に付けたかどうかを見取るライティングのパフォーマンス課題をデザインする。
- ③ライティングのパフォーマンス課題の達成につながる各単元末のライティング課題をデザインする。
- ④単元末のライティング課題遂行に必要な能力をスモールステップで身に付けさせるため、毎時間の授業においてどのような活動（主にやり取りの言語活動）を行うかを計画する。

という逆算的な設計を行っている。

「話す（やり取り）」力を「書く」力につながる研究の一環として、単元計画の際、主に単元中盤～後半の授業において、授業終盤にその授業の授業内容と関連したライティングの活動（本指導案では以下、「スモールライティング」と呼称する）の時間を設けている。生徒が気軽かつコンスタントにライティングの活動を行えるようにしながら、その授業のやり取りの活動を通して学んだことの確認を文章化することで振り返りつつ、それらのライティングの練習の蓄積が単元末活動やパフォーマンス課題において生かされればよいと考えている。

本校校内研においては、「主体的に課題に向き合い、自ら考え、学ぶ生徒の育成 ～学習指導と評価の工夫を通して～」というテーマのもと、「論理的に思考し、表現する力」の育成を図りながら、学力全体の底上げを目指している。各教科における学習指導・評価の工夫や、先生方の実践を校内研で共有した情報を、やり取りの活動やライティング活動の場面設定のヒントとして活用している。

○生徒観

男子16名、女子12名、計28名のクラスである（うち2名は特別支援学級に在籍しており、英語の授業は交流学級とは別に行っている）。明るく、一生懸命で、やさしさと思いやりの心をもった生徒が多い。英語の授業中、積極的に発言する様子や、互いに教え合う様子が頻繁に見られる。スモールトークの際も、あいさつやリアクション、あいづち、“Why?”と理由をたずねる、またそれに答えるなど、やり取りの態度に関しても小学校での指導が丁寧に行われてきたことの表れであると感じる。

一方、スローラーナーの生徒が多く在籍しており、ライティング活動等の際には上手に英語を用いてコミュニケーションを行うことができず、指導者やクラスメイトが手助けをすることが多い。幸いなことに、英語という教科や言語そのものに対して好意的にとらえている生徒がほとんどで、今年5月に実施したアンケート調査では、「英語の勉強は好きである。」「英語の勉強はどちらかというと好きである。」と答えた生徒はクラス全体の81%、「英語の勉強は大切である。」「英語の勉強はどちらかというと大切である。」と答えた生徒はクラス全体の96%となっている。実際にスローラーナーの生徒たちも、自分の好きなことや興味があることを一生懸命伝えようとする姿勢がよく見られる。生徒のモチベーションを保ち、積極的にやり取りを行う姿勢に対する評価をクラス全体に共有することや、コミュニケーション活動をはじめとする授業内の活動における知識・技能／思考・判断・表現に対する中間指導を適切に行うことを心がけたい。

3 領域別の学年ごとの目標および評価規準

「話すこと（やり取り）」「書くこと」における第1学年の目標および評価規準

(1) 長坂中 CAN-DO リストにおける第1学年「話すこと（やり取り）」「書くこと」の目標

<話すこと（やり取り）1年—レベル3>

人や物について、詳しい情報（位置や所有者について）を、簡単な語句や表現を用いてたずねたり答えたりすることができる。(2-3往復)

<書くこと1年—レベル3>

自分の学校の人や場所について紹介する文章を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

(2) 評価規準

	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	・学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。 ・実際のコミュニケーションにおいて、人や物の詳しい情報について、簡単な語句や表現を用いて伝え合う技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、人や物の詳しい情報について、簡単な語句や表現を用いて伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りをしようとしている。
書くこと	・学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。 ・実際のコミュニケーションにおいて、自分の学校の人や場所について、簡単な語句や文を用いて文章を書く技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の学校の人や場所について、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて文章を書こうとしている。

4 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

長坂中学校に外国人がやってきた際、学校のことをいち早く理解してもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化などについて、わかりやすく伝え合ったり、外国人来校者用パンフレットを書いたりすることができる。

(2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	知識・・・Where や When, 命令文を用いた文の構造を理解している。 技能・・・中学校の様子、きまり、文化などについて、Where や When, 命令文などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。	中学校に外国人がやってきた際、学校のことをいち早く理解してもらうために、学校の様子やきまり、文化などについて、簡単な語句や表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	中学校に外国人がやってきた際、学校のことをいち早く理解してもらうために、学校の様子やきまり、文化などについて、簡単な語句や表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

書くこと	<p>知識・・・WhereやWhen, 命令文を用いた文の構造を理解している。</p> <p>技能・・・中学校の様子, きまり, 文化などについて, WhereやWhen, 命令文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>中学校に外国人がやってきた際, 学校のことをいち早く理解してもらうために, 中学校の様子, きまり, 文化などについて, 簡単な語句や文を用いて外国人来校者用パンフレットを書いている。</p>	<p>中学校に外国人がやってきた際, 学校のことをいち早く理解してもらうために, 中学校の様子, きまり, 文化などについて, 簡単な語句や文を用いて外国人来校者用パンフレットを書こうとしている。</p>
------	---	---	--

便宜上, 以下のように示す。

ア:「話すこと (やり取り)」知識・技能 イ:「話すこと (やり取り)」思考・判断・表現

ウ:「話すこと (やり取り)」主体的に学習に取り組む態度

エ:「書くこと」知識・技能 オ:「書くこと」思考・判断・表現

カ:「書くこと (発表)」主体的に学習に取り組む態度

5 単元の指導と評価の計画 (全11時間)

時間	ねらい (■)・言語活動等 (○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■教科書本文のおおまかな内容を理解するために, 教師の発話や教科書の会話文を聞き取ることができる。</p> <p>○帯活動:ビンゴ, Small Talk, リスニング教材</p> <p>○本単元の最終活動について理解する。</p> <p>○オーラルイントロダクションを聞き, 教科書本文の概要を捉える。</p> <p>○本文を聞き, 本文の絵を番号順に並び替えることで, 本文の流れを捉える。</p> <p>○様々な外国の学校の様子を知る。</p> <p>○本時で取り扱った表現に関連する一文を書く。</p>				※本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。
2	<p>■教科書本文に関する質問に答えるために, 教科書本文の音声を聞き, 内容を聞き取ることができる。</p> <p>○帯活動:ビンゴ, Small Talk, リーディング教材</p> <p>○単元の新出単語を知る。</p> <p>○本文を聞き, 内容を復習する。</p> <p>○本文を再度聞き, 内容に関する質問に答える。</p> <p>○本文を再度聞き, 教科書本文を正しい順番に並び替える。</p> <p>○本時で取り扱った表現に関連する一文を書く。</p>				※本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。

3	<p>■教科書本文を正しい発音で読むことができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ, Small Talk, リーディング教材</p> <p>○単元の新出単語を復習する。</p> <p>○本文を聞き, 内容を復習する。</p> <p>○ALT の後に続き本文を音読する。</p> <p>○穴あきの本文を用いて音読をする。</p> <p>○本時で取り扱った表現に関連する一文を書く。</p>			<p>※本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。</p>
4 5	<p>■教科書のストーリーを演じ, 本文の状況をわかりやすい英語で相手に伝えることができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ, Small Talk, リスニング教材</p> <p>○単元の新出単語を復習する。</p> <p>○本文を聞き, 内容を復習する。</p> <p>○班ごと Unit5 の本文を再現した動画を撮影し, 提出する。</p> <p>○本時で取り扱った表現に関連する一文を書く。</p>			<p>※本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。</p>
6 本時	<p>■疑問詞 Where を用いて, 長坂中への来校者を, 訪ねたい先生のところへ案内するために, その先生がいる場所などについて適切にやり取りすることができる。</p> <p>○帯活動：Small Talk</p> <p>○教科書 p.75 のリスニング活動を行う。</p> <p>○長坂中への来校者に先生たちの場所を伝える。</p> <p>○会話活動に関連した一文ライティング活動を行う。</p>			<p>※本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。</p>
7	<p>■命令文を用いて, コロナ禍や映画館学校内など様々な状況下で他人に指示を出すために, アドバイスを適切に伝えることができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ, Small Talk</p> <p>○教科書 p. 77 のリスニング活動を行う。</p> <p>○映画館やコロナ禍, 学校内など様々な状況下で他人に適切な指示やアドバイスを伝える。</p> <p>○会話活動に関連した一文ライティング活動を行う。</p>			<p>※本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。</p>
8	<p>■疑問詞 when を用いて, 外国人の生徒(役)を相手に, 日本の学校生活について知ってもらうために, 学校での1日のスケジュールや注意点などを適切に伝えることができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ, Small Talk</p> <p>○教科書 p. 79 のリスニング活動を行う。</p>			<p>※本時では, 目標に向けて指導は行うが, 記録に残す評価は行わない。</p>

	<p>○外国人の学生(役)を相手に、学校での1日のスケジュールについて伝え合う。</p> <p>○会話活動に関連した一文ライティング活動を行う。</p>				
9 ・ 10	<p>■外国からの転校生(役)に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、長坂中の様子、きまり、文化についてわかりやすく伝え合うことができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk</p> <p>○〈Unit5 <u>パフォーマンステスト</u> (話すこと やり取り)〉</p> <p>「Welcome to Nagasaki Junior High School!」</p> <p>○会話活動に関連した一文ライティング活動を行う。</p>	や	や	や	◎評価規準ア・イ・ウ 〈会話活動の様子の観察、振り返りシート〉
11	<p>■外国からやってきた人に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化などを示した外国人来校者用パンフレットを英文で書くことができる。</p> <p>○帯活動：ビンゴ、Small Talk</p> <p>○〈Unit5 単元末の<u>パフォーマンステスト</u> (書くこと)〉</p> <p>「長坂中学校に外国人が来客した際に、学校のことをいち早く理解してもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化などが分かりやすく書かれた外国人来校者用パンフレットをつくろう!」</p>	書	書	書	◎評価規準エ・オ・カ 〈行動観察、振り返りシート、ライティングの記録〉
Unit6 1~10	<p>■Unit 6 (10時間計画)</p> <p>単元の目標：姉妹提携都市の生徒に、長坂中の職員やクラスメイトを紹介するために、わかりやすいブログの記事を書くことができる。</p>	書	書	書	◎姉妹提携都市の生徒に、長坂中の職員やクラスメイトを紹介するために、学校や状況や生徒の実態をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。〈作文の内容〉
(後日)	<p>■〈Unit5・6の<u>パフォーマンステスト</u> (書くこと)〉</p> <p>外国から長坂中にやって来る転校生に対し、自分の学校の人や場所について紹介する文章を、自分の考えなどを含めて書くことができる。</p> <p>○英作文 (20~50語)</p>	書	書	書	◎外国からの転校生に対し、自分の学校の人や場所について紹介する文章を書くために、学校や状況や生徒の実態をもとに自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて文章を書いている。〈作文の内容〉

◎パフォーマンステストの内容

<話すこと（やり取り）のパフォーマンステスト>

「Welcome to Nagasaka Junior High School!」

外国からの転校生(役)に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、長坂中の様子、きまり、文化について分かりやすく伝え合ひましょう。

※イメージ



○パフォーマンステストの実施形態

形式：Unit 5 第9, 10時授業にて実施。

評価方法：ALTもしくはJTEと生徒1名との面接形式の英会話パフォーマンステストを実施。

ALTもしくはJTEが外国からの転校生（役）となる。

○パフォーマンステストにおけるルーブリック（評価基準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。 (3往復以上)	外国からの転校生(役)に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、あいさつや自己紹介など、初対面の相手に対する形式的・内容的配慮のある発言とともに、長坂中学校の様子、きまり、文化などについて伝え合っている。	外国からの転校生(役)に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、あいさつや自己紹介など、初対面の相手に対する形式的・内容的配慮のある発言とともに、長坂中学校の様子、きまり、文化などについて伝え合おうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。 (2～3往復程度)	外国からの転校生(役)に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化などについて伝え合っている。	外国からの転校生(役)に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化などについて伝え合おうとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

○パフォーマンステストにおける具体的なゴール

【a 評価の会話の例】

S: Hi! I'm (名前). Nice to meet you! (※思考・判断・表現評価 a の根拠の例)

T1: I'm(名前). Nice to meet you too.

S: How are you? (※思考・判断・表現評価 a の根拠の例)

T1: I'm nervous. I don't know much about Japanese school.

S: OK, OK. Are you 1-1 student?

T1: Yes.

S: Me too! 1-1 classroom is on the third floor! (※知識・技能評価 a および思考・判断・表現 a の根拠の例)

(It's a) Blue room! (※知識・技能評価 a および思考・判断・表現 a の根拠の例)

The teacher is Mr. Ichinose. He is an English teacher. He is funny.

He is in the teacher's room. Let's go! Let's talk!

(※知識・技能評価 a および思考・判断・表現 a の根拠の例)

【b 評価の会話の例】

S: Hello.

T1: Hello.

S: We eat lunch in Shirafuji Hall. (※思考・判断・表現 b の根拠の例)

T1: Shira... I don't know. Where is it?

S: *It's on second floor.* (※知識・技能評価 b の根拠の例)

T1: Is it a cafeteria?

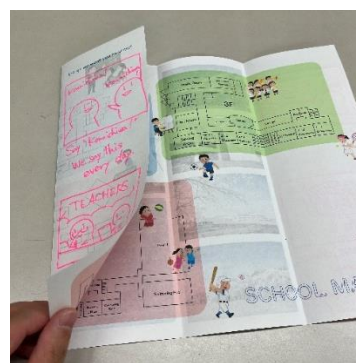
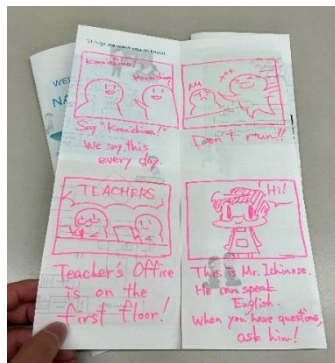
S: No. (※知識・技能評価 b の根拠の例)

<書くことのパフォーマンステスト(Unit5 単元末)>

「外国人来校者用パンフレットをつくろう！」

○パフォーマンステストの内容

外国からやってきた人に長坂中のことをいち早く知ってもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化などを示した外国人来校者用パンフレット ("Things we want you to know!(知っておいてほしいこと)"の部分のみ) を英文で書こう!



↑この見開きページ,
"Things we want you to know!(知っておいてほしいこと)"
を生徒に作文させる。

○パフォーマンステストの実施形態

形式：Unit5 単元末（1 1 時間目）の英作文課題として実施

○パフォーマンステストにおけるルーブリック（評価基準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。 (20語以上)	中学校に外国人がやってきた際、学校のことをいち早く理解してもらうために、あいさつや自己紹介など、初対面の相手に対する形式的・内容的配慮のある文章と共に、長坂中学校の様子、きまり、文化について紹介する文章を書いている。	中学校に外国人がやってきた際、学校のことをいち早く理解してもらうために、あいさつや自己紹介など、初対面の相手に対する形式的・内容的配慮のある文章と共に、長坂中学校の様子、きまり、文化について紹介する文章を書こうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。 (20語程度)	中学校に外国人がやってきた際、学校のことをいち早く理解してもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化について紹介する文章を書いている。	中学校に外国人がやってきた際、学校のことをいち早く理解してもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化について紹介する文章を書こうとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール

【a 評価の作文の例】

Say "Konnichiwa!" We say this every day.

Don't run!

Teacher's Office is on the first floor!

This is Mr. Ichinose.

He can speak English.



【b 評価の作文の例】

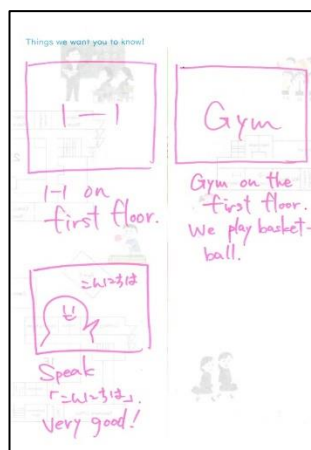
1-1 on first floor.

Gym on the first floor.

We play basketball after school.

Speak Konnichiwa.

Very good!




<書くことのパフォーマンステスト(Unit5・6終了後)>

8 以下の質問の状況に応じた英文を考え、書きなさい。

(4) アメリカから長坂中1学年にメグ(Meg)さんという女子生徒が3学期に転校してくるようになりました。あなたは一瀬先生から、「不安でいっぱいメグさんに、いち早く長坂中学校のことを知って安心してもらうために、メグさん宛てに長坂中学校のことを紹介する手紙を書いてほしい。」とお願いされました。

条件	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの内容について、具体的に書くこと。 ・20語以上50語以内の英語で書くこと。文の数はいくつでもよい。 <p>なお、短縮形(I'mやdon't)は1語と数え、符号(, や ? など)は語数に含めない。 また、記入例のとおり、解答欄に記入すること。</p> <p>(記入例) No, I'm not. [3語] (記入例) Do you like sushi? [4語]</p>
----	--

	<p>一瀬先生から教えてもらったメグ(Meg)さんの情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢は14歳。 ・アメリカのニューヨークから、家族と一緒に引っ越してくる。 ・1月の3学期始業式から長坂中の生徒となる。 ・クラスは1年1組所属となる。 ・日本に来るのは初めてなので、日本の学校のことがよくわからない。
--	---

○パフォーマンステストの実施形態

形式：1学年2学期末試験(英語)問題内の作文問題として実施

○パフォーマンステストにおけるルーブリック(評価基準)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。 (20～50語)	外国からの転校生に自分の中学校のことを知ってもらうために、あいさつや自己紹介など、初対面の相手に対する形式的・内容的配慮のある文章と共に、長坂中学校の様子、きまり、文化、人物などについて紹介する文章を書いている。	外国からの転校生に自分の中学校のことを知ってもらうために、あいさつや自己紹介など、初対面の相手に対する形式的・内容的配慮のある文章と共に、長坂中学校の様子、きまり、文化、人物などについて紹介する文章を書こうとしている。

b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。 (20語程度)	外国からの転校生に自分の中学校のことを知ってもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化、人物などについて紹介する文章を書いている。	外国からの転校生に自分の中学校のことを知ってもらうために、長坂中学校の様子、きまり、文化、人物などについて紹介する文章を書こうとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール

【a 評価の作文の例】

Hello, Meg! I'm Yukari! Welcome to Nagasaka! Are you excited?

1-1 students are very kind. (1-1 classroom is on the third floor.) 1-1 teacher is Mr. Ichinose. He can speak English well.

Do you play tennis? I'm in the tennis club! Let's play tennis together!

See you on January!(49語)

【b 評価の作文の例】

Nagasaka chugakko in Hokuto. Go to school at 8:20. You say Ohayogozaimasu.

Ichinose Teacher is in 1-1.

Shirafuji Hall is *in* the 2 floor. (24語)

5 本時について

(1) 本時の目標

長坂中への来校者を、訪ねたい先生のところへ案内するために、その先生がいる場所などについて適切にやり取りすることができる。

(2) 本時の展開

学習過程	生徒の活動	教師の支援・活動	○評価 ●指導上の留意点
あいさつ (2分)	Good morning, Mr. Ichonose and Mr. Glen.	T1: Good morning, everyone. T1: How are you? (ask each other) T1: Are you nervous? T1: I AM NERVOUS!!!	

<p>帯活動 Small Talk (5分)</p>	<p>T1 と ALT の手本を見て会話のテーマや表現の方法などを理解する。</p> <p>S1: I like music room.</p> <p>S1: I'm in the brass band. I like playing the flute in the music room.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><生徒のやり取りの例> A: Hello! B: Hello! A: What room do you like? B: I like the gym. A: Why? B: I like basketball. B: How about you?</p> </div>	<p>T1: We are having our English class in here, Shirafuji Hall. T1: I feel weird. I like 1-1 classroom better. T1: Glen sensei, what room do you like in Nagasaka Junior High School? ALT: I like teachers' room. T1: Why? ALT: I can relax in the teachers' room. T1: I see. T1: How about you, everyone? What room do you like? T1: Why do you like music room? T1: I see. That's good! T1: OK, everyone! Talk to your friends! "What room do you like?" Go! T1: Kaiten-zushi! T1: Switch your role! T1: Go! (会話の相手と役割を変える。)</p>	<p>●机間指導を行い、必要に応じて生徒にヒントを与える。 ●教室名がわからない生徒には、配布済みのパンフレットを見るよう指示を出す。</p>
<p>本時の目標の確認 (1分)</p>	<p>本時の目標を知る。</p>	<p>T1: Today's Goal! T1: We have a lot of guests today. Can you tell them where Nagachu teachers are right now? Let's practice guiding in Nagachu.</p>	

<p>展開② リスニング 活動 (7分)</p>	<p>教科書 p.75 を聞く。</p> <p>S: ○○ room.</p> <p>近くの生徒と回答を比べ、必要に応じて解説し合う。</p> <p>S: “F”.</p> <p>S: “Entrance.”</p> <p>S: “Near.”</p>	<p><教科書のリスニング活動></p> <p>T1: Eri does good guide. Let’s listen to her guiding. Open your textbook to page 75!</p> <p>T1: Look at their school!</p> <p>T1: What’s this room?</p> <p>T1: Now let’s listen to Eri’s guiding. Where are these 3 classrooms?</p> <p>T1: 音声全体を1度聞かせる。</p> <p>T1: Wow, she is good. She’s also kind, isn’t she?</p> <p>T1: Now let’s listen to it one more time and try to find where these 3 classrooms are.</p> <p>T1 音声全体を再度聞かせる。</p> <p>T1: Check your answers with your friends!</p> <p>T1: OK, tell me. The nurse’s office is in…?</p> <p>T1: That’s right. What was the hint?</p> <p>T1: That’s right. “NEAR the entrance.” Very good!!</p> <p>※問2, 問3についても同様に行う。</p> <p>T1: By the way, where is the nurse’s office in Nagasaka Junior High School? 1st floor? 2nd floor?</p>	<p>●机間巡視を行い、必要に応じて生徒にヒントを与える。</p> <p>●ALT は展開②のための支度を行う。</p> <p>●展開③に向け、長坂中での各教室の位置などについても英語で生徒に問いかける。</p>
--------------------------------------	--	---	--

展開③

(計 25 分)

その 1 :

説明

(5 分)

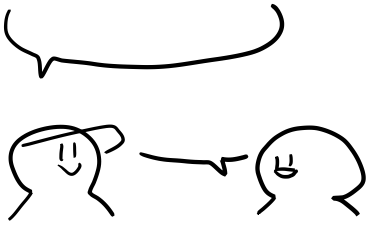
	1 年次 (1 年次 2 組)				
	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組
校長室	校長室	校長室	校長室	校長室	校長室
教務主任	教務室	教務室	教務室	教務室	教務室
事務主任	1-1 秘書	1-2 秘書	1-3 秘書	1-4 秘書	1-5 秘書
図書室	図書室	図書室	図書室	図書室	図書室
保健室	保健室	保健室	保健室	保健室	保健室
1 年次 1 組	教務室	教務室	教務室	教務室	教務室
2 年次 1 組	図書室	図書室	図書室	図書室	図書室
3 年次 1 組	2-1 教務	2-1 教務	教務室	2-2 教務	
4 年次 1 組	教務室	教務室	教務室	教務室	教務室
5 年次 1 組	2-2 教務	教務室	教務室	1-3 図書	1-1 図書
1-1 教務					
校長室	2-1 教務	教務室	2-2 教務	図書室	2 年 図書
教務主任	1-2 図書	1-1 図書	図書室	図書室	2 年 図書
事務主任	教務室	教務室	教務室	2-2 図書	2 年 図書
1 年次 2 組	2-2 教務	教務室	1-2 教務	2-1 教務	2 年 図書
2 年次 2 組	2 年 図書	教務室	2-1 図書	図書室	2 年 図書
3 年次 2 組	2-2 図書	教務室	2-1 秘書	1-1 図書	1-1 図書
4 年次 2 組	2-2 図書	教務室	教務室		
5 年次 2 組	2-2 図書	教務室	教務室		
図書室	1-1 図書	教務室	教務室	2-2 図書	
保健室					
1 年次 2 組	教務室				
2 年次 2 組					
3 年次 2 組					
4 年次 2 組					
5 年次 2 組					



TO (お届け先)
Name
Address
(郵便番号) Postal code
(国名) Country
TEL / FAX

T1 時間割を生徒に配布する。
 ALT, 荷物を持って現れる。
 ALT: Excuse me, is this Nagasaka Junior High School?
 T1: Yes.
 ALT: This is Glen's Delivery Service. I have a package for Ms. Koizumi. Where is she?
 T1: Ms. Koizumi? Well, let me check the schedule sheet...
 T1 時間割表を確認する。
 T1: She is a school nurse, so he must be... There!
 T1: She is in the nurse's office.
 ALT: The nurse's office! OK!
 Thank you!
 ALT: ... Where is the nurse's office?
 T1: Oh, sorry!
 T1: It is on the first floor, in front of the bathroom!
 ALT: On the first floor, in front of the bathroom! OK, I got it.
 Thank you!

 T1: Make pairs!
 T1: Students on my right are going to be Nagasaka students,
 T1: And students on my left is going to be guests.
 T1: I'll give you a package and a cap for guests!
 T1・ALT 宛名入りの荷物とピンクの帽子を配布する。

<p>その2： 活動① (5分)</p>	<p>S: "Where is Ms. Koizumi?"</p> <p>S: "She is in the nurse's office."</p> <p>S: "It's on the first floor."</p> <p>S: Yes.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><生徒のやり取り(1回目)の例></p> <p>A: Hello!</p> <p>B: Hello!</p> <p>A: Where is Mr. Uchiki?</p> <p>B: She is in 3-2.</p> <p>A: Thank you!</p> </div>	<p>T1: Let's practice now!</p> <p>T1 イラストを板書。</p>  <p>T1: Now, Glen sensei has a package for Ms. Koizumi.</p> <p>T1: ゲスト,宅配業者の人はなんてたずねるだろう?</p> <p>T1: That's right!</p> <p>T1 "Where is ___?"と板書。</p> <p>T1: Then the students say…?</p> <p>T1: Very good!</p> <p>T1 "She is ___." "It's ___."と板書。</p> <p>T1: Alright! Stand up!</p> <p>T1: Are you ready?</p> <p>T1: OK! 3, 2, 1, go!</p>	<p>●机間指導を行い、必要に応じて生徒にヒントを与える。</p> <p>●板書した“Where is _?” “She is ___.” “It's _.”は生徒の活動の様子を見ながら少しずつ消していく。</p> <p>●中間指導の材料として、生徒の模範的なやり取りや、改善すべきやり取りをリストアップする。</p>
------------------------------	--	---	---

<p>中間指導① (2分程度)</p>	<p><中間指導：お客さん側編></p> <p>(生徒の発言例①) A: お客さん側が自己紹介をしてもいい。</p> <p>(生徒の発言例②) A: お客さん側が用件を伝えた方が良い。 A: “I have a package for Ms. Uchiki.”</p>	<p>T1: Everyone, go back to your seat. T1: Good job! ここからさらにやり取りを良いものにしていこう。まずはお客さん視点。 T1: たとえばこんなやり取りってどう？</p> <p>T1(客): Hello! ALT(生徒): Hello! T1(客): Where is Ms. Uchiki? ALT(生徒): She is in 3-1. It's on the 2nd floor. T1: この会話, お客さん側はどうすればさらによくなるかな？</p> <p>T1: Ah good idea! T1: まあでも必須ではないよ!</p> <p>T1: Nice! How?</p> <p>I: Very good!</p> <p>(状況に応じた指導者側からの指導例) T1: It's better to do it like this; ALT: Where is Mr, Sakamoto? T1: He is in the teachers' room. ALT: The Teachers' room? Okay. T1: It's on the 1st floor. ALT: 1st floor, got it!</p> <p>T1: グレン先生どんなことしてた？</p>	
-------------------------	--	--	--

<p>中間指導② (3分程度)</p> <p>その3: 活動② (10分)</p>	<p>A:聞き返してた。</p> <p><中間指導：生徒側編></p> <p>(生徒の発言例①)</p> <p>B: 詳しい位置を伝えた方が良い。</p> <p>A: (p.75 のリスニングから) near ~.</p> <p>B: next to ~.</p> <p>C: between ~ and ~.</p> <p>D: In that building.</p> <p>S: Yes.</p>	<p>T1: That's right! It's very easy and effective!</p> <p>T1: Everyone, go back to your seat.</p> <p>T1: Good job! 今度は生徒側の視点で見てみよう。</p> <p>T1: たとえばこんなやり取りってどう?</p> <p>T1(客): Hello!</p> <p>ALT(生徒): Hello!</p> <p>T1(客): Where is Ms. Uchiki?</p> <p>ALT(生徒): She is in 3-1. It's on the 2nd floor.</p> <p>T1:この会話, お客さん側はどうすればさらによくなるかな?</p> <p>T1: That's right!</p> <p>T1: How would you tell where 3-1 is?</p> <p>※その他, 生徒の内容面での工夫を見取り, 適宜全体に共有する。</p> <p>T1: これらの反省を踏まえて, 再度案内をしてみよう!</p> <p>T1: Let's do it again! Stand up!</p> <p>T1: Are you ready?</p>	<p>●生徒の発言を吹き出しの部分に必要な応じて板書する。</p>
---	--	--	-----------------------------------

	<p><生徒のやり取り(2回目)の例></p> <p>A: Hello!</p> <p>B: Hello!</p> <p>A: I'm ○○.</p> <p>I have a package for Mr. Watanabe.</p> <p>Where is he?</p> <p>B: OK.. He is in the library.</p> <p>A: Where is the library?</p> <p>B: It's on the 2nd floor in that that building.</p> <p>A: OK. Thank you.</p> <p>B: You're welcome!</p>	<p>T1: OK! 3, 2, 1, go!</p> <p>T1: Kaiten-zushi!</p> <p>T1: Switch your role!</p> <p>T1: Go!</p> <p>(会話の相手と役割を変える。)</p> <p>T1: OK, that's it! Sit down, everyone!</p> <p>T1: Good job!</p>	<p>●板書した表現は生徒の活動の様子を見ながら少しずつ消していく。</p> <p>●机間指導を行い、必要に応じて生徒にヒントを与える。</p> <p>●中間指導の材料として、生徒の模範的なやり取りや、改善すべきやり取りをリストアップする。</p>
<p>展開③ ライティング活動 (5分)</p>	<p><1文のライティング活動></p> <p>T1・ALT スモールライティングシートを配布する。</p> <div data-bbox="309 936 1347 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Small Writing Sheet Grade () Class() No. () Name()</p> <p>Today's Date: _____, _____</p> <p>Today's Question: _____</p> <p>Your Answer: _____</p> </div> <p>S ライティングを開始。</p> <p>S ライティング用紙を提出。</p>	<p>T1: Now, Tina's mother came to Nagasaka Junior High School.</p> <p>T1: She says, "Where is 1-1 classroom?"</p> <p>T1: Write down this sentence and your answer.</p> <p>T1: You have 3 minutes. You write down sentences as many as you want.</p> <p>T1: (回収後、紹介すべき良い文章があればとりあげて解説をする。)</p>	<p>●机間巡視を行うが、ヒントは与えず、回収したライティングにフィードバックを記入し後日配付。</p> <p>●指導の材料として、生徒の模範的なやり取りや、改善すべきやり取りをリストアップする。</p>
<p>ふり返り (5分)</p>	<p>本時に学んだことやできたことをふりかえりシートに記入させる。</p>	<p>T1: Write down today's review!</p>	

あいさつ	<p>S: Stand up!</p> <p>S: Let's finish English class!</p> <p>S: See you next time! Goodbye!</p>	<p>T1: That's all for today. Leader, please!</p> <p>T1・ALT: See you next time! Goodbye!</p>	
------	---	---	--

(3) 評価規準

※本時は、「記録に残す評価」は行わないが、以下のように評価の観点に記載する。

「話すこと（やり取り）の思考・判断・表現」

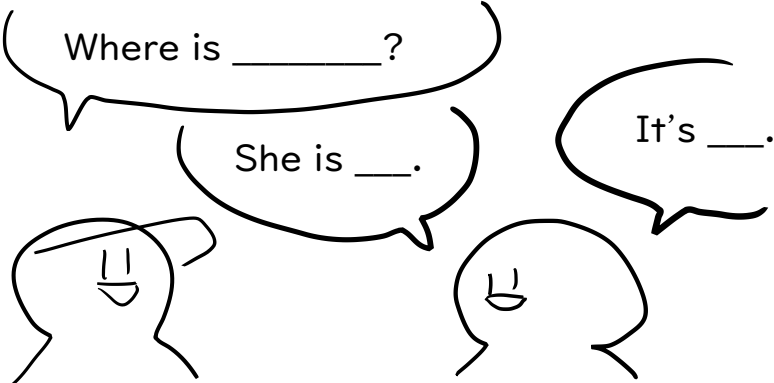
長坂中への来校者を、訪ねたい先生のところへ案内するために、その先生がいる場所などについて適切にやり取りしている。

(※) 評価及び指導の例

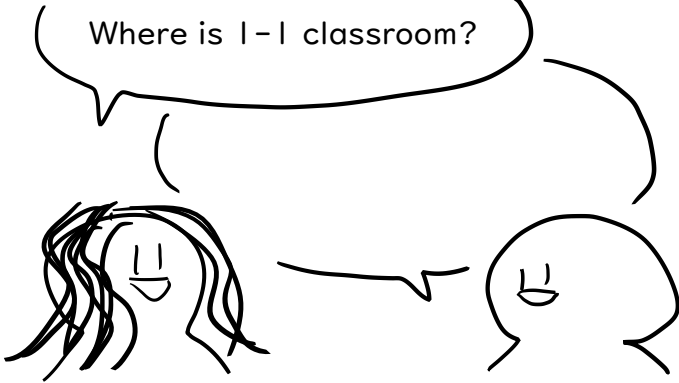
「十分満足できる」状況 (a)	長坂中への来校者を相手に、あいさつなど自然なやり取りを踏まえつつ、状況の説明や教員のいる場所、教室の場所などについての情報を適切に伝え合っている。
「おおむね満足できる」状況 (b)	長坂中への来校者を相手に、先生たちが今いる場所についての情報を適切に伝え合っている。
「努力を要する」状況 (c) と評価した生徒に対する指導の手立て	<p>長坂中への来校者を相手に、先生たちが今いる場所についての情報を伝え合っていない。</p> <p>→以降のスマールトークにおける同様のトピックでの会話の際、指導内容を振り返らせながらやり取りをさせる。</p>

6 板書計画

板書計画①

(曜日) (月) (日)	本時の目標	
	Where is _____?	※デジタル教科書 p. 75 を プロジェクターで表示
	She is ____. It's ____. 	
単元 目標	※吹き出し内には,中間指導の内容に応じたヒントを記入します。 ※ヒントは活動中に生徒の様子に応じて消していきます。	

板書計画② (ライティング活動時)

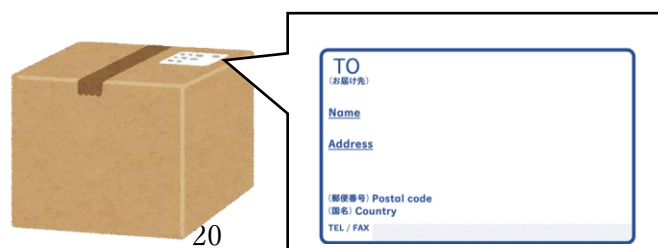
(曜日) (月) (日)	本時の目標	
	Where is I-I classroom?	※デジタル教科書 p. 75 を プロジェクターで表示
		
単元 目標		

7 使用教材

- ・ キャップ (15個) ※学校の備品を使用予定



- ・ 宛名の書かれた荷物 (15個) ※教科書 p.37 の教材を利用し, 内容は指導者が事前に記入しておく。



・長坂中学校案内パンフレット表側（最終活動で使用するもの。すでに生徒に配布済み。）



WELCOME TO
NAGASAKA

J. H. S.!!



Nagasaka Junior High School

Address:

1 608 Nagasaka-kamijo, Nagasaka,

Hokuto City, Yamnashi,

408-0021 JAPAN

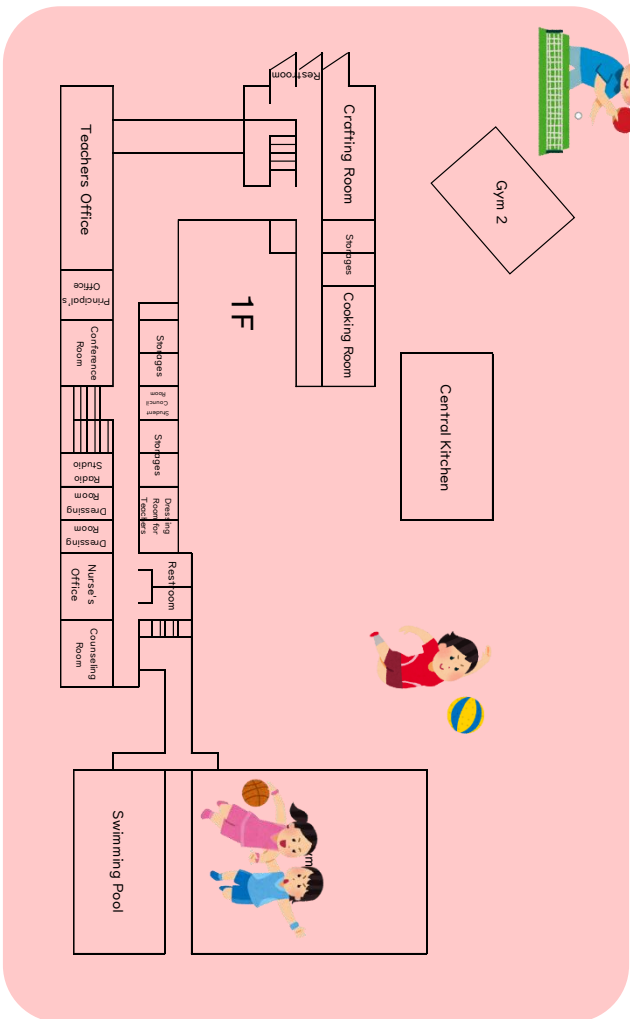
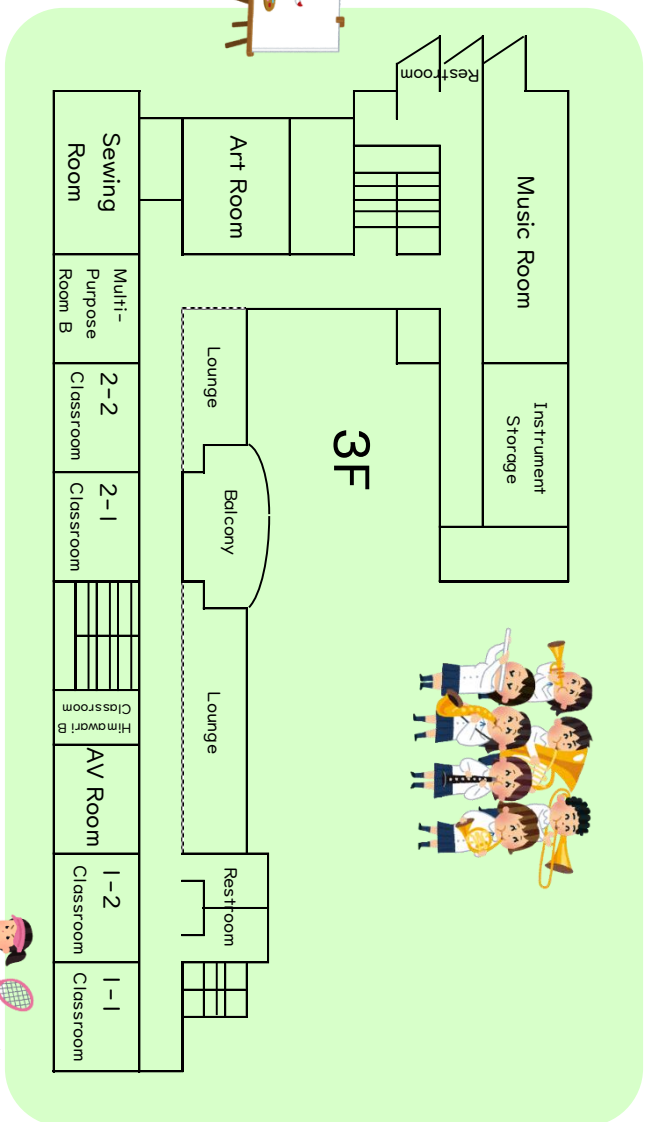
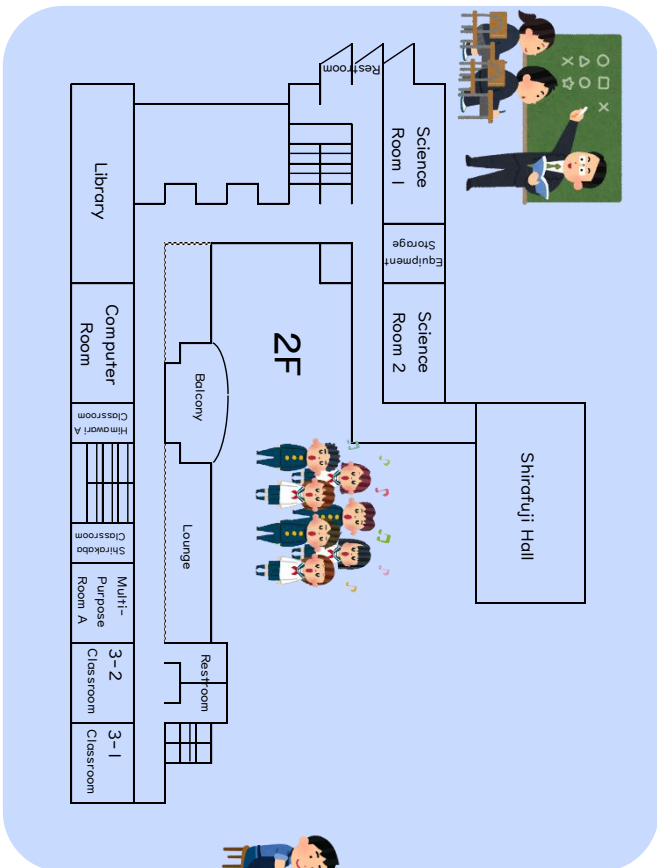
Telephone:

(81)51-32-2242

Email:

main@nagasaka-jhs.city-hokuto.ed.jp

Things we want you to know!



SCHOOL MAP

・オリジナル時間割

	10月19日(水)				
	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時
校長先生	校長室	校長室	校長室	会議室	白藤ホール
教頭先生	職員室	職員室	職員室	会議室	白藤ホール
津金先生	1-1 社会	職員室	しらかば 社会	会議室	白藤ホール
坂本先生	2-1 国語	職員室	1-1 国語	1-2 国語	白藤ホール
小泉先生	保健室	保健室	保健室	保健室	保健室
小澤かおり先生	職員室	職員室	職員室	職員室	職員室
渡辺先生	図書室	図書室	図書室	図書室	図書室
島先生	3-2 数学	2-1 数学	職員室	2-2 数学	
中嶋先生	職員室	職員室	職員室	職員室	職員室
グレン先生	2-2 英語	職員室	ひまB 英語	しらかば 英語	1-1 英語 白藤ホール
マツ先生					
内木先生	3-1 国語	職員室	職員室	会議室	白藤ホール
進藤先生	職員室	1-1 理科	ひまB 自習	ひまB 数学	白藤ホール
中沢先生	職員室	1-1 理科	3-1 理科	3-2 理科	白藤ホール
小笠原先生	3-2 数学	職員室	1-2 数学	3-1 数学	白藤ホール
大柴先生	1-2 技術	1-2 技術	3-2 技術	ひまB 数学	白藤ホール
宮内先生	職員室	2-2 社会	2-1 社会	会議室	白藤ホール
猪股先生	しらかば 理科	職員室	職員室	職員室	白藤ホール
清水先生	2-2 英語	職員室	職員室	2-1 英語	白藤ホール
保坂先生	職員室	2-1 数学	2-2 音楽	2-2 数学	白藤ホール
鷹野先生					
小沢健司先生	職員室	3年 体育	1-2 数学	会議室	白藤ホール
三好先生	職員室	3年 体育	職員室	しらかば 英語	白藤ホール
一瀬先生	ひまA 英語	職員室	ひまB 英語	1-1 英語 白藤ホール	1-1 英語 白藤ホール
小暮先生	職員室	3年 体育	職員室	職員室	白藤ホール
名取先生					
萩原先生					